

平成21年度 施策評価シート

◆総合計画における位置付け等

平成21年7月24日記入

基本目標	学びあいあたたかさのある福祉文化都市をめざして	施策コード	18310
政策名(章)	第8章 国際平和と人権が尊重される社会を実現します	評価担当局	市民局
基本施策名(節名)	第3節 男女共同参画社会づくりの推進	施策所管課	男女共同参画課
施策名	男女平等意識の醸成	課長名	江成明美

1 施策の目的

さがみら男女共同参画推進条例、さがみはら男女共同参画プラン21に基づき、男女の固定的な役割分担意識やそれに基づく社会制度・慣行等の見直しに向けた様々な意識の啓発を行い、男女の人権が互いに尊重され、個性と能力が十分に発揮できる男女共同参画社会の実現を目指す。

2 施策の概要

施策の実施にあたり、市民(男女共同参画推進員)との協働による男女共同参画の普及・啓発活動(「女と男のいきいきフォーラム」の開催、情報誌「ともに」の発行等)を行っている。

3 事業費

(単位:千円)

年度	平成19年度(決算)	平成20年度(決算)	増減の主な理由
事業費	4,103	4,934	平成20年度ハンドブック「お父さんといっしょ」の改訂を行ったことによる増額
人件費	1,240	1,240	
市民一人あたりの事業費(単位:円)	6	7	

* 年間の人件費はH19、H20ともに805万円/年とし、人口は、70.6万人(H20.4.1現在)、71.0万人(H21.4.1現在)とした。

4 成果・活動指標

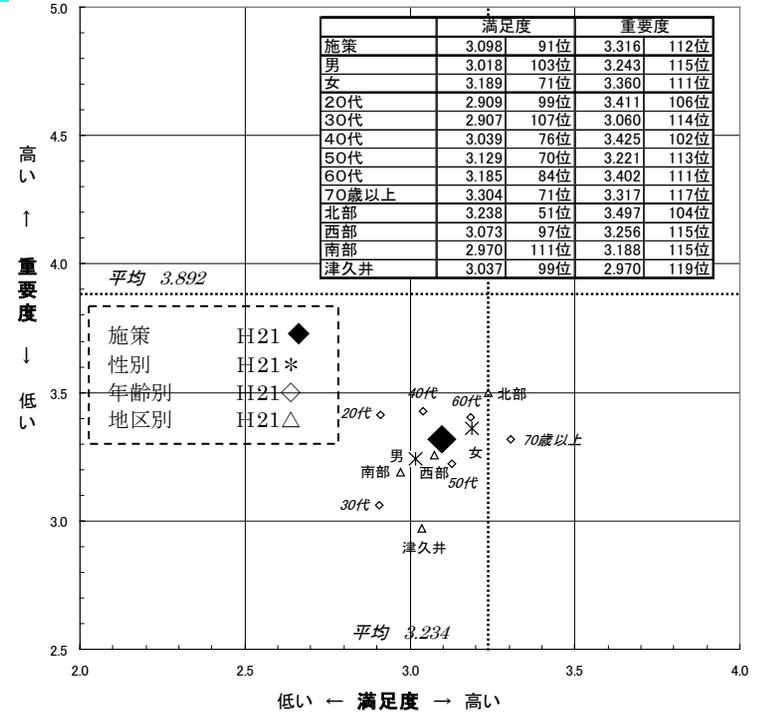
順位	指標名	指標の基準値の定義	目標値の考え方(根拠)
1	指標1 男女平等だと思っている市民の割合	家庭・地域・学校・職場などで男女平等だと思っている市民の割合を市民アンケートにより捕捉する。	平成20年度調査を基準とする。各種啓発活動の充実にとまない、男女共同参画社会の推進に取り組む市民が毎年0.5%増加することによる増額
2	指標2 事業への参加率	講座等へ定員に対する参加率により、事業に対する市民のニーズをはかる。 参加者数÷募集定員×100	ここ数年の募集定員に対する参加者の割合を推移を勘案し、年2.5%の参加率の増加を見込む。
3	指標3 事業への男性参加率	事業への男性参加率により、男性に対する啓発の効果をはかる。 男性参加者数÷参加者総数×100	ここ数年の事業への男性参加者の割合の推移を勘案し、年2.5%の参加率の増加を見込む。
4	指標4 事業の参加者の満足度	講座等への満足度により、啓発の効果をはかる。(講座の参加者アンケートより) 「よかった」と回答した人数÷アンケート回答者数×100	ここ数年の「よかった」と回答する人の推移を勘案し、年1.5%の増加率を見込む。
5	指標5 男女共同参画プラン21実施状況	男女共同参画プラン21の実施状況を、施策の推進状況ではかる。 実施済事業数÷総事業数×100	平成23年度までに年間1.5%の増加を目指す。(時代の変化に応じて未実施事業については、実施のあり方・見直しを含めて検討す

	基準年	基準値	H19		H20		H21		H22	
			目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
指標1 (単位:%)	H20	47.6				47.6	48.1		48.6	
総事業費・人員 (単位:千円・人)		4,934	0.14	4,103	0.14	4,934	0.14			
指標2 (単位:%)	H17	71.7	76.7	89.2	79.2	117.2	81.7		84.2	
総事業費・人員 (単位:千円・人)		4,311	0.14	4,103	0.14	4,934	0.14			
指標3 (単位:%)	H17	17.8	22.8	18.9	25.3	21.5	27.8		30.3	
総事業費・人員 (単位:千円・人)		4,311	0.14	4,103	0.14	4,934	0.14			
指標4 (単位:%)	H17	90.8	93.8	94.8	95.3	79.2	96.8		98.3	
総事業費・人員 (単位:千円・人)		4,311	0.14	4,103	0.14	4,934	0.14			
指標5 (単位:%)	H17	93.2	96.2	97.3	97.7	97.7	99.2		100.0	
総事業費・人員 (単位:千円・人)		4,311	0.14	4,103	0.14	4,934	0.14			

5 市民満足度調査結果(平成21年度実施分)

- この施策の満足度は3.098で全119施策の中で91番目。
- 重要度は3.316で112番目である。
- 改善要望度は-0.311で106番目である。

男女平等意識の醸成



6 1次評価(2つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H20評価点	前回(H20)評価結果との比較分析 または優先順位の最も高い指標以外で評価した理由
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	④ 2 1	④ 2 1	新たに設定した指標1は、平成20年度に初めてアンケートを実施したため、比較分析が行えない。したがって、指標2で評価を行った。
効率性	最小の経費で最大限の効果を得られるよう、効率的に事業を実施している	④ 2 1		新たに設定した指標1は、平成20年度に初めてアンケートを実施したため、比較分析が行えない。したがって、指標2で評価を行った。
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4 2 ①	4 2 ①	
合計				評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による) A(9点以上) B(8点・7点・6点・5点) C(4点以下)
				1次評価 A

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

7 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	男女共同参画社会の実現に向け、あらゆる分野における意識啓発事業の実施が重要となる。また、固定的な性別役割分担意識が根強く、地域における活動の参加に性別・世代の偏りがある。今後は、近年の少子高齢化の急速な進行や社会経済情勢の急激な変動等社会の変化に対応した、時代のニーズに合った施策も進めていく必要がある。
解決策	男女共同参画社会の実現のために、地域の身近な団体や組織等と連携・協働し、多様な主体の参画の確保等、実践的活動を中心に取り組みを行う。また、ワーク・ライフ・バランス等、社会の変化に伴う時代のニーズにあった効果的な事業展開を実施する。

8 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

	2次評価 A
--	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

9 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

	3次評価 A
--	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向